東京福祉大学

2025年度 一般選抜2期 2科目型(2月6日)

選択科目 試験問題

(制限時間120分で各自選択した2科目を受験)

「現代の国語・言語文化」・・・・・・・・・ P.1 \sim P.4 「英語コミュニケーション I \bullet II」・・・ P.5 \sim P.7 「数学 I \bullet A」・・・・・・・・・・ P.8 \sim P.9

あなたの受験票に記載されている科目で受験すること。記載されている科目以外で 受験しても無効になります。

※試験開始の合図があるまで、開いてはいけません。 ※この問題用紙は試験終了後、持ち帰ってください。

受 験 番 号 氏名

2025年度 一般選抜2期 2科目型(2月6日)

現代の国語・言語文化

※問題は次のページからです。

「人は一人では生きていけない」

生きていけるんじゃないかな」と思う人だっているでしょう。 セリフをよく耳にします。「たしかにそうだな、人間一人では生きていけないな」、とこの言葉に素直に納得する人 皆さんは先生やご両親から、よくこうした言葉を聞かされたことはありませんか。

な でも反対に 「ホントにそうかな。なんかしっくりこないな。 テレビドラマなどでもこん 人はじつは一人でだって十分

皆さんはどう思われるでしょうか。

代でしかも都会暮らしであればあるほど、「案外人間は一人で生きていけるのではないか」と答える割合が多い らしている場所が地方であればあるほど、「人は一人では生きていられない」と答える可能性が高 ア 全体的にはこうした傾向が見られるのではないかと思われます。 いに関する答えの傾向としては、 もちろん都会暮らしの若者すべてが「一人でも生きていられる」と考えるわけではないでしょう。 こんな予想が立てられます。 ネンレ イが上にな ればなるほど、 い。そして若い年 ので て暮

まあそれなりに生きていけるのかといった問いを立ててみましょう。 人と人との〈つながり〉 の問題を考える最初の出発点として、人は本当に一人では生きら れな V \mathcal{O} か、 れ

東京のような都会にだってあったのです。『ALWAYS ンの要素も多分に入っているとはいえー 顔と名前はぜんぶわかる」といった集落がそれですね。これは、何も地方の農村や漁村だけに限ったことでなく、 かつての日本には「ムラ社会」という言葉でよく表現されるような地域共同体が存在していました。「ご近所の人 昭和四〇年くらいまでの日本には確かにありました。 -のように、近所に住む住人同士の関係が非常にノウミツな「ご町内」 三丁目の夕日』--映画ですから描き方にはフィクシ

は 厳然とした事実でした。 そんな「ムラ社会」が確固として存在した昔であれば、 これは明らかに 「一人では生きていけ な い」ということ

だから村の交際から締め出されてしまう「村八分」というペナルティは、わりと最近まで死活問題だったわけです。 ちの手を借りなければいけなかったからです。こうした、物理的に一人では生活できない時代は長く続きました。 な話お金さえあれば、生きるために必要なサービスはだいたいキョウジュできるようになりました。 近代社会になってきて、 食料や衣類をはじめ、 貨幣(=お金)というものが、 生活に必要な物資を調達するためにも、 より生活を媒介する手段として浸透していくと、 仕事に就くにし ても、 V ろ

ます。働くにしても、仕事の種類によってはメールとファックスで全部済んでしまう場合だってあります。 とりわけ、今はコンビニなど二十四時間営業の店も増え、思い立った時にいつでも生活必需品は手に入れられ ネットショッピングと宅配を使えば、 部屋から一歩も出ずにあらゆるサービスを受けることも可能になってい

人で生きる」ことも選択可能なのです。 一人で生きていても昔のように困ることはありません。生き方としては、「誰とも付き合わず、

「人は一人では生きていけ ない」というこれまでの前提がもはや成立しない は現実に は生じ

うことではありません。 こうした現代的状況を目の前にして私が言いたいの みんなバラバラに自分の欲望のおもむくままに勝手に生きていきましょうといったことで は、 「だから、 一人でも生きてい け るんだよ」とい

もありません。「一人でも生きていくことができてしまう社会だから、人とつながることが昔よりフクザツで難しい の問題は、こうした観点から考え直したほうがよさそうです。 は当たり前だし、人とのつながりが本当の意味で大切になってきている」ということが言いたいのです。つなが

今の私たちは、 お金さえあれば一人でも生きていける社会に生きています。

まったくの一人ぼっちではさびしいと感じるものです。 て人のような生活が理想だという人もいないわけではありませんが、たいてい、仮にどんなに孤独癖の強い人でも、 ことでも、フツウの人間の直感として「そうは言っても、一人はさびしいな」という感覚がありますね。 ⑤____ 本当に世捨

だちがほしいし、家庭の幸せを求めているわけです。 ながりを保ちたい。そのことが、人間の幸せのひとつの大きな柱を作っているからです。だからほとんどの人が友 工 __なぜ一人ではさびしいのでしょうか。やはり親しい人、 心から安心できる人と交流していたい、 かとつ

がっている面もたしかにあるけれども、しかし人と人とのつながりはそれだけではないわけです。 あの人と付き合うと便利だとか便利じゃないとか、得だとか損だとかいった、そういった利得の 側面で人がつな

と思い込んでいても、 済的条件と身体的条件がそろえば、一人で生きていくことも不可能ではない。しかし、大丈夫、 __、「人は一人でも生きてい 人はどこかで必ず他の人々とのつながりを求めがちになるだろう」です。 けるか」という問いに対する私の答えは、「現代社会において基本的に 一人で生きている 人間は経

出典: 菅野 仁 著 『友だち幻想 人と人の へつなが り <u>シ</u> を考える』 筑摩書房 二〇〇八年

問一 本文中の傍線①~⑤の片仮名を漢字に直しなさい

ネンレイ ② ノ

② ノウミツ

③ キョウジュ

4

フクザ

´ツ ⑤ フ

ッウ

問二 本文中の空欄ア 同じ語を二度以上使ってはならない。 オーに入る最も適切な接続語 を次 の語群①~⑤から選んで番号で答えなさい。

語群: ① では

② ところが

③ しかし

4

だか

ら
⑤
さて

- 問三 本文の内容と合致していないものを次の①~⑤の中から一つ選び、番号で答えなさい。
- 1 若い年代で都会暮らしの人は「人間は一人で生きていけるのではないか」と答える割合が多いのではない
- 昭和四〇年くらいまでの日本には「ムラ社会」という言葉で表現されるような地域共同体が存在していた。

2

- 3 現代社会では一人でも生きていくことができるため、昔ほど人とのつながりが大切ではなくなってきてい
- 4 今の私たちは、ネットショッピングと宅配を使えば、部屋から一歩も出ずにあらゆるサービスを受けるこ とが可能であり、お金さえあれば一人でも生きていくことも選択可能である。
- (5) 親しい人、 心から安心できる人とのつながりを保つことは、 人間の幸せのひとつの大きな柱である。

問四 本文中の傍線Aについて、 あなたはどのように考えますか。 本文の内容に触れながら、 あなたの考えを四○

○字から六○○字で述べなさい。

2025年度 一般選抜2期 2科目型(2月6日)

英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ

※問題は次のページからです。

1 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい(固有名詞はそのまま使用してよい)。

Studying in a foreign country can be exciting. It can be difficult too, especially if the culture is very different from your own. However, there are often surprises even if the culture is very similar. When Megan, a British student, first arrived here in the United States, she knew that Americans ate their food with a knife and fork. "But they don't use the knife and fork like we do," says Megan. "In Britain, we eat with the fork in the left hand and the knife in the right hand, whereas Americans often just use a fork in the right hand."

Megan is also surprised that Americans tip a lot more than the British do. "We never tip a waiter just for a cup of coffee, but Americans tip 15%. The accents can be so different too! I'm slowly getting used to everything."

For students who come here from more different backgrounds, settling in can take longer. Kit-ken, a student who came from Taiwan only a few months ago, told us, "When I first arrived, everything was new and exciting. I really liked the differences between here and home. I was happy to be in a new country. Now though, I miss my family and friends, and feel a little lonely. Sometimes, I'm confused about what to do. There are still lots of things that I like, but now there are more things I dislike. I feel really homesick!"

For advice, we turned to some students who now have few problems about being a student here. Seydou arrived from Senegal two years ago. He told us, "Kit-ken shouldn't worry. This is perfectly normal. I felt exactly the same as she did. I didn't understand the culture and my English wasn't improving either."

Seydou realized this was because all his friends were from his own country. "So I decided to get to know some North American students and other international students. I went to the student union where there are a lot of different clubs. There are sports clubs, dance clubs, clubs for people who have the same religion, clubs for people who want to find out more about something – there are loads! I saw there was a club for students interested in music and so I joined that. It made all the difference! I made friends quite quickly, and I was able to understand the culture a bit better. The students in the club were interested in me too. We talked about the differences, and I began to feel a lot happier. We now get along well and often hang out together."

出典 Jackie McAvoy. *Essential Reading* (Second Edition). London: Macmillan Education, 2016 (一部改変)

<注>

settle in: 慣れる Senegal: セネガル (アフリカ西部の国)

student union: 学生会館(学生の社会的・組織的活動のために設けられた大学構内の建物)

loads: 多数 hang out: 時を過ごす

問題

問1 下線部①は何を指すのか、文中より英語で抜き出しなさい。

問 2 下線部②はどのようなことを指すのか、日本語で具体的に述べなさい。

問3 下線部③を日本語に訳しなさい。

問4 下線部④の"here"と"home"はそれぞれ何を指すのか、日本語で述べなさい。

問5 下線部⑤はどのようなことを指すのか、日本語で具体的に述べなさい。

問6 下線部⑥はどのようなことを指すのか、日本語で具体的に述べなさい。

2 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい(固有名詞はそのまま使用してよい)。

I have been alone for three years now. My freshman year, my mother had to take a job as a live-in care-giver to make enough money to pay rent and other bills after my uncle got married and moved out. $\underline{\underline{I}}$ was ecstatic. I could finally have the entire house to myself. I had imagined the countless hours on the PS4, nobody telling me to go to sleep or to go do my homework. I felt free. $\underline{\underline{U}}$ nobody this freedom came at the expense of my childhood.

To compensate for never being home, my mother called me three times a day. The first call would always be at 6:00 a.m., like clockwork. That was the call to wake me up so that I wouldn't miss the bus and be late for school. Then there was the 4:00 p.m. call where we went over anything and everything that happened in school that day. Lastly, there was the 7:00 p.m. call which always seemed to last over an hour. This was the call that made me miss my mother the most. We labeled this call the "multi-purpose" call. Sometimes we would just talk about how we were both doing. Other times she would teach me things I needed to know, like how to do laundry, how to go grocery shopping, or how to cook. But one thing that she always seemed to bring up was how she wished things were different and how much she ached with the desire to be home with her son.

That last call always weighed heavily on my heart. When around friends and their families, I would often put my head down and smile because their interactions would remind me so much of when my mother was with me every day. It made me miss her insurmountably, to the point where I began to despise every aspect of this "independence." To me, it was loneliness, isolation, and nights laying in bed wishing I had a loved one in the house that I could talk to or hug. I was forced to become a man instead of living out my days as a kid. What hurt me the most, though, was knowing that my mother hated our situation even more than I did. She hated knowing her only child was growing up without her and it hurt her more than words could explain. She would always say how I was her pride and joy, but I've always thought of myself to be her hope, her hope for a better life. That is why I have worked so hard in school.

出典 The Harvard Crimson. 50 Successful Harvard Application Essays. New York: St. Martin's Griffin. 2024 (一部改変)

<注>

live-in: 住み込みの care-giver: 介護者

ecstatic:有頂天になった PS4:プレイステーション4(家庭用ゲーム機)

compensate: 埋め合わせをする like clockwork: 時計のように正確に

ache: 切望する interaction: 交流

insurmountably:乗り越えられないほどに

despise: ひどく嫌う isolation: 孤立

問題

問1 下線部①はどのような理由のためか、日本語で具体的に述べなさい。

問2 下線部②を日本語に訳しなさい。

問3 下線部③を日本語に訳しなさい。

問4 下線部④を日本語に訳しなさい。

問5 下線部⑤はどのようなことを指しているのか、日本語で具体的に述べなさい。

2025年度 一般選抜2期 2科目型(2月6日)

数学 I · A

※問題は次のページです。

注意 1 : 問題は全部で 3 題,解答用紙は 3 枚ある。問題 1 の解答は 1 の解答は 1 の解答は 1 の解答は 1 の解答は 1 の解答用紙に記入すること。

注意 2: 解答にあたっては、最終的な答えだけでなく、その詳しい説明と計算過程 についても必ず「解答欄」に書くこと。

注意3:作図を要する問題の解答にあたっては、定規、コンパス、分度器等の道具 を使用しないこと。

注意 4: 円周率を用いる場合にはπを用い、3.14 などの近似値に置き換えないこと。

問題 1

次の(1)~(4) にあてはまる 300 以下の自然数をそれぞれ全て求めよ。

- (1) 7で割っても、11で割っても割り切れる。
- (2) 7で割っても,11で割っても4余る。
- (3) 7で割ると2余り、11で割ると6余る。
- (4) 7で割ると3余り、11で割ると5余る。

問題2

 \triangle ABC において AB=5, BC=6, CA=4 である。このとき, 次の問いに答えよ。

- (1) cos A
- (2) sin A
- (3) △ABC の面積

問題3

A, B, B, C, C, C を円形に並べる方法は何通りあるか。